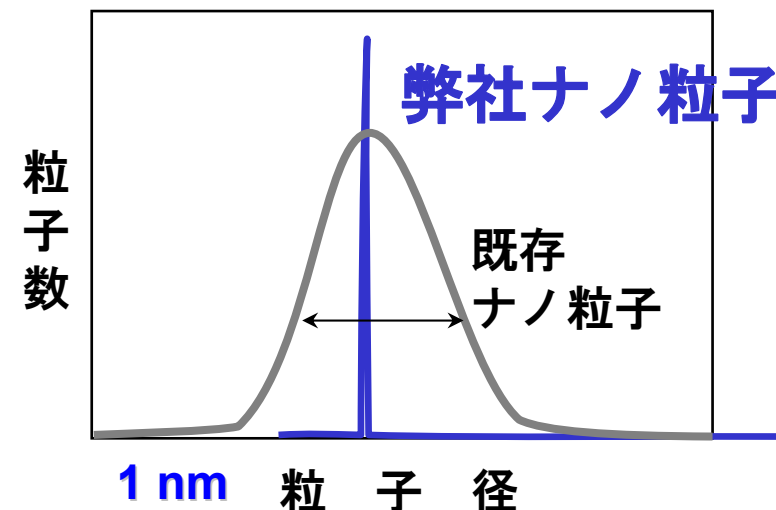
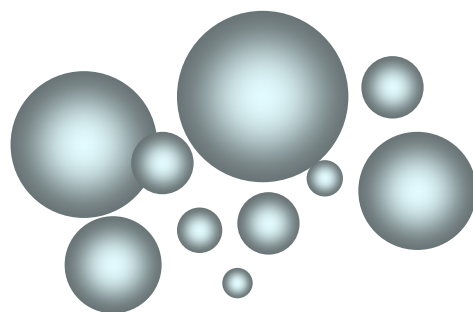


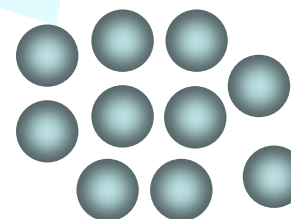
既存ナノ粒子の課題

- 粒径のバラツキが大きい
- 量産困難

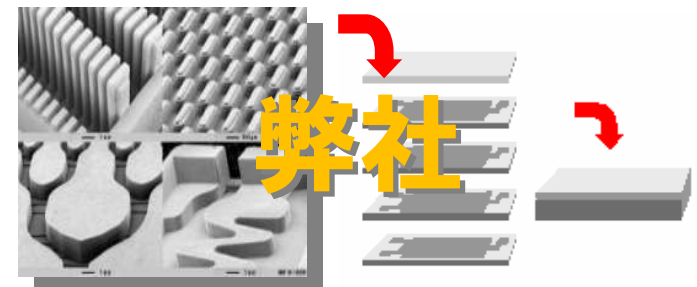


弊社ナノ粒子の特徴

- 粒径のバラツキが極小
(狙った粒径のみ製造)
- 量産可能

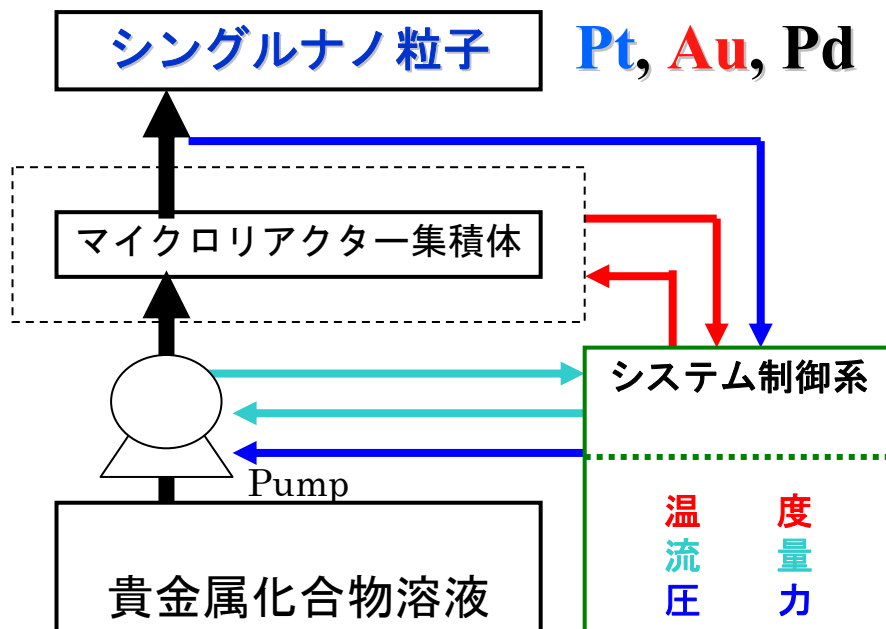


既存プロセス と マイクロリアクターの比較



| 技術 | 化学プラント | マイクロリアクター |
|---------|-------------------------------|--|
| 設備投資 | 数十～数百億円 | 1基 数百万円 |
| 道具 | ビーカー, フラスコ | マイクロ化学プロセス |
| 濃度分布 | 大きな濃度差が存在 | 均一 |
| 温度分布 | 大きな温度差が存在 | 均一 |
| 反応温度 | 沸点以下 | 高温可能 |
| 圧力 | 加圧は出来ない | 超高压も可能 |
| スケールアップ | ラボ機 ≠ 化学プラント 相関確立に多大な時間・労力 | ラボ機 = 量産機 ラボ機積層による量産 短期間で量産立上げ可能 |

弊社マイクロリアクター



(設備概略 及び 写真)

製造量 : 3000 [g-Pt/day] = 1000 kg / year

(マイクロプロセス最大充填時)

乗用車用浄化触媒: 100万台分